

(子ども発達センターニュース)

スクッピーだより

平成24年3月 調布市子ども発達センター

TEL 042-486-1190 E-mail/ ayumi@w2.city.chofu.tokyo.jp



「あゆみとあゆんで」

暖かい春の足音が聞こえてきています。通園事業の卒園式ももうすぐです。卒園式は、子ども発達センターの前身である「あゆみ教室」「あゆみ学園」から通算すると42回目になります。

今回は、この「あゆみ」についてお伝えしたいと思います。

始まりは、お母様方の熱意による自主的な活動でした。昭和44年の「あゆみ教室」、今から43年前のことです。当時、障害児が通うことのできる場所はなく、友達と遊ばせたいというお母様方の熱い思いから児童会館の一室を借りてのスタートだったとのこと。これが、現在の子ども発達センター誕生の「源」でした。

翌年、調布市がこの活動を市の事業として引き継ぎ、昭和49年には染地に「あゆみ学園」が開設されました。調布市では、法律上の障害別施設ではなく、どんな障害であっても、また障害の診断がついていなくても療育を必要とする子どもたちを対象として、独自の通園施設として事業を実施してきました。

その後、年々増加する利用希望者や、地域の子ども施設との連携、発達に関する相談など様々なニーズに対応するため、生まれ変わったのが「調布市子ども発達センター」です。

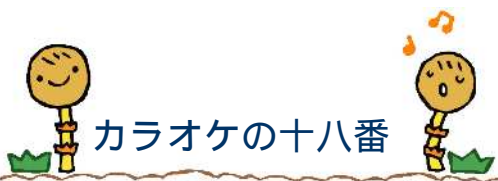
平成21年10月の開設を前に、染地のあゆみ学園から、現在の西町に引越して来たのですが、その時、沢山の荷物と一緒に、それまであゆみ学園が大事にしてきた理念や歴史、子どもたちが残してくれた思い出もしっかりと運んできました。

「子ども発達センター」は、「あゆみ学園」とは場所も名前も変わりましたが、これまでと変わらず調布の「宝」である子どもたちの成長を応援し続けます。

また、この春、子ども発達センターを卒業する皆さんはもちろんのこと、今まで、あゆみ学園を巣立っていった沢山の先輩にとっての「ふるさと」でもあり続けたいと思っています。



子ども発達センター長 田中 けい子



カラオケの十八番

「皆とカラオケに行きませんか？」電話の主は、市内のグループホームを利用されているAさんです。Aさんは、スーパーマーケットにお勤めです。趣味は、好きな音楽を聴くこと。それに競馬も楽しんでいます。Aさんのグループホームでは毎月1回グループホームのメンバーでカラオケに行っています。休日の午後好きな歌を歌いながら、美味しいものを食べ、ちょっぴりアルコールも入って、メンバー全員がリフレッシュする時間です。Aさんの十八番はZARD。ZARDの歌なら何でも歌えるほどの大ファン。他のメンバーの十八番は世代がそれぞれ違うので、懐かしの歌謡曲、フォークソング、アニメソング、Jポップ...選曲もバラエティー豊かです。小声ながらも目を閉じて自分の世界に入り込む人や即興の替え歌にしてしまう人もいて、歌い方も様々です。

そんな素敵なカラオケの時間に私も時々お邪魔させていただきながら、いつも思うことがあります。それは、「好きなこと」をして過ごす時間はとても大事で、幸せな時間です。たくさんの好きなことや好きな物、好きな人が増えるほど、心が豊かになるんだなとメンバーの笑顔を見ていると感じます。

日々の療育の中で、一人ひとりの「好きなこと」が少しずつ増えるように、私たちがお手伝いできることは何かを一緒に考えていきたいと思っています。

通園事業あゆみ園長 田崎 明子

グループ・クラスの紹介

子ども発達センターには、通園事業に4クラス、発達支援事業に27グループがあります。
各クラス、グループ(幼児・1・2歳児)の、それぞれ一年間過ごしてきた様子をご紹介します。

幼児グループ

ペンぎん 朝の支度をした後はイスに座ってみんながそろそろのを待ちます。待つ姿もりりしくなってきました。



集まりでの手遊びは「キャベツの中から」「野菜の歌」「アンパンマン」速いバージョンがお気に入り。野菜の歌は、自分用の絵巻も作ってお持ち帰りしました。今はパネルシアターの「おおきなカブ」で『手伝って』と言われると照れながらも前に出て、つながっていく姿がとてもかわいいです。リズム、サーキットや斜面すべりも大好きで、元気に体を動かし笑っている6人です。

くじら 今年のくじらグループはみんな年長さんです。5人でスタートし、途中1人増え、お引越してまた5人に戻りました。



年度当初は、外遊びの自転車、散歩が好きな子、絵本をみるのが好きな子、サッカーが好きな子、プラレールが好きな子...とみんなそれぞれでしたが、今ではいすとりゲームや色ゲーム、むっくりくまさんといった鬼ごっこのような小集団遊びを仲良く楽しんでいます。もうすぐピカピカの1年生です。やった!できた!わかった!の笑顔がみんなの顔にあふれますように(^o^)

しろくま 4人のメンバーでスタートしたしろくまさん。途中から2人加わって、とてもにぎやかなグループになりました。制作を繰り返し行ってきましたが、みんなやる気満々。できない所は手伝ってもらいながらも、見本をじっくり見て、嬉しそうに「できたよ!」と教えてくれます。達成感を感じて、自信もつけているようです。お友達にも興味を持ち始め、少しずつ遊ぶ楽しさを感じて過ごしています。



らっこ 4月は3人でスタート。1月からは4人になった、らっこグループです。春からはずっとヨーイドン+カードはりやお買い物ごっこ、サーキットなど「自分の順番を待つ」活動をたくさん取り入れてきました。今では、自分の名前がいつ呼ばれるかなあ~とワクワクしています。席へ戻ってきたお友達とハイタッチしたり、「がんばれー!」と拍手で応援したり、お友達のことが大好きならっこグループのみんなです。



いるか いるかグループで今楽しんでいるのは“りずむ”です。ピアノの曲に合わせて、ウサギのようにはねたり、馬のように四ツ這いになったりします。曲に合わせて動作ではないものの、楽しそうに走ったり、とんだりしています。



4月の頃は絵本より追いかけてこの方が楽しかった子どもたちですが、今は“だるまさん”の本をじっくり見てくれます。「ドテッ」やら「ギュッ」やら言いながらだるまさんの真似をしてくれています。それが楽しくて大笑い。笑顔が一杯のいるかグループです。

あしか 元気いっぱいの男子6人グループのあしかです。

制作やみんなでゲームも楽しめますが、一番好きなのは、どの子もやっぱりO活です。トランポリンやロングボード等、電車や車に見たてと一緒に乗ったり、何人かの子とジャンプして、お互い笑い合ったりと、ひと汗かいて終えるぐらいみんな好きです。



最近は当番活動も始まり、ワゴンを運んだり、テーブルを拭いたり、友だちや職員とお弁当の準備を楽しんでいます。

2 歳児グループ



ばなな グループ開始の頃は、初めての活動やお友達に“ドキドキ”不安そうな表情だった子ども達。同じ課題を繰り返し行い安心してくると、笑顔も増えて、お友達への意識もできてきました。さようならの前に読む絵本は、みんな目を輝かせて注目して見ている、「もう一回」とリクエストが出ることもありました。後期になって一部メンバー変更はありましたが、雰囲気は変わらず、落ち着いた遊びの中で、自分の気持ちも少しずつ出せるようになってきました。



めろん 後期からスタートしためろんグループ。女の子の多いグループですが、みんな元気いっぱい、プレイルームの遊具でジャンプしたり、のぼったり、体をたくさん動かして遊びました。ヨーイドンでのポストに手紙を入れに行く課題などでは、みんなが自然にゆずり合い、一列になって順番に入れるというほほえましい姿も見られました。



みかん 10月から始まったみかんグループ。最初は2人だったお友だちも、今では5人に増えました。広い部屋を使った運動遊びに、じっくり座って行う制作。さまざまな活動を毎回夢中になって楽しんでいる皆です。「もう1回！」と意欲満々の子どもたちに引っぱられて、ついつい予定の時間をオーバーすることも……。活動を重ねていく中で、お友だち同士の関わりが見られるようになってきた皆。後わずかですが、仲良く過ごしていけるとよいですね。



ぶどう 10月からメンバーや回数が変わり、再スタートを切ったぶどうグループ。皆体を動かすことが大好きで、毎回よじ登りやジャンプが楽しめるコーナーを作って、元気に遊んでいます。沢山動いて汗をかいた後は、お友だち同士お茶でカンパイ！他にもいろいろと、かわいらしい姿を見せてくれています。前に立つ職員へ注目を向けてくる場面が増えてきた子どもたちに、日々の成長を感じる今日この頃です。



もも グループが始まった頃は不安そうな表情をしていたお友だちもいましたが、グループのお部屋でママたちと一緒に体遊びやタオルブランコをしたり、ボールプールなどで遊ぶことを繰り返し行うことで、少しずつ慣れてきました。秋頃からは広いお部屋で体を動かしてたくさん遊んでいます。みんなでいろいろな遊びを通して“たのしい！”“おもしろい！”“もっとやりたい！”をたくさん体験しているももグループです



りんご 10月からメンバーがすっかり新しくなったりんごグループ。初めはドキドキしていたお友だちもいましたが、少しずつ慣れ、アンパンマンの「サンサン体操」やお集まりの数字の歌、2G プレイルームでたくさん体を動かす遊びを楽しんでいます。お友だち同士の関わりも見られるようになり、お友だちがやっていることを“ボクも！”とマネしてみたり、お友だちと一緒に楽しむ姿もみられるようになり、みんなが少しずつ成長しグループでの活動を楽しんでいます。



いちご グループ開始時は、緊張気味でママのそばを離れたくなかったお友だちが多かったですが、今では、グループの活動の流れにしっかりのり、楽しむようになりました。「次の遊びは何かな？！」とキラキラしたお目目でスケジュールボードを見つめています。「ぱっくん」は皆の好きな遊びの一つ。ぶーちゃんから鬼さんになり、色合わせの要素が加わりました。みんなじっくり見比べてボール入れ。終わっても最後まで見送ってくれるみんなです。

1 歳児グループ

すみれ すみれグループで大人気なのは、バイキンマンのパペット人形に食べ物のミニチュアを食べさせること！



バイキンマンが近づいてくると少し怖い気もするけど...やっぱり嬉しくてニコニコしちゃうすみれグループのみんなです。プレイルームで元気に体を動かしたり、さようならの時のシールはりも大好きです。朝、お部屋に笑顔で楽しそうに入ってきてくれるみんなを見ていると、職員も嬉しくて笑顔になっちゃいます。

たんぽぽ 10月から始まったグループです。元気いっぱいの子も達、ボールプールや斜面台など体を動かさず設定の中で遊んでいます。体をたくさん動かさず中で、スタッフにもすっかり慣れて、ママのお膝の上で集まりにも楽しく参加してくれています。歌や手遊びが大好きな子ども達なので、たくさん歌っていきたくと思っています。



つくし 4人のお友達でスタートしたつくしグループ。9月から2人の女の子が加わり、楽しく活動しています。まず始めは抱っこで布くぐり、キャッキヤと笑う子、期待してニコリ笑う子、ギュッと目をつぶる子...様々です。それから、お名前呼びと握手、緊張してママに抱きつく子、先に両手を出して握手を待っている子...と、こちらも様々です。



どの子のどんなシーンも、とってもキュートなつくしのみんなです。

通園

うさぎ



集まりがみんな大好き！お友だちの名前が呼ばれるとみんなでそちらを大注目！！と熱い視線を送り合い始まったうさぎクラス。

夏にはみんなすっかり園生活に慣れ、プール遊びで夏を満喫しました。秋には体力もついてきて、遠足に向け積極的にお散歩に出かけました。遠足の当日は天候にも恵まれ、とてもよく歩いたうさぎのみんなです。冬になり、新しい体操を始めるとみんなで大盛り上がり！いちご ゴーゴー みかん ンー ンー とノリノリで楽しめます。

1年を通してゆっくりと関係を深めていったうさぎクラスのお友だち。お友だちの顔をのぞきこみに行く子、泣いているお友だちのそばに寄って行く子、お友だちにギュッと抱きつきに行く子...と、今ではお友だちのことを意識する姿が多く見られるようになりました。

りす



初めて一緒に過ごすお友だちや先生もいる中、ドキドキしながら迎えた4月。

りすクラスの1日は、体を動かすことから始まります。まずは振り付き遊びやダンスで体を温めます。スタートラインからの『よーいどん』では、先生やお友だちと手をつないで走ったり、ぞうきんがけしながら進んだり、バトンをつなぐリレーをしたり、いろいろなバリエーションを広げて取り組んできました。

机上課題では、のりの感触や座り続けることが苦手だったお友だちも、回を重ねることで完成を楽しみに最後まで作り上げるようになりました。作品をお部屋に飾ってもらうことや、お友だちの作品と並ぶことも楽しみの一つだったようです。

クラスの流れに慣れていくことで、お友だちとの関係も深まってきました。同じことをしたかったり、またそれに負けじともっと頑張りを見せたり、お友だちと一緒に育ち合った一年でした。

こあら



こあらクラスは、たくさん外あそびを楽しみました。

4月は、だんご虫の観察をしたり、ブランコをするなど、せんせいとあそぶことが多かったですが、今ではおともだちとじゃんけんをしておにごっこをしたり、ボールをなげあったりする姿が見られるようになりました。砂場では、お店屋さんごっこや、工事現場を作ったりして遊んでいます。

お当番では、おにぎりの手あそびを皆の前で毎日一人づつするようにしました。オリジナルで具を考えて言ったり、好きな動物や乗り物を発表する中で、お友だちの中にいる心地よさや主役になって輝ける時を感じて楽しんでいる様子がみられるようになりました。秋の遠足で一人ひとりが感想を言ったことがスタートで、今では「やりたいあそび」や「たのしかったこと」を発表するのが日課になっているこあらのみなです。

「今日のお当番はだれだっけ？」とせんせいが言うと、「くんだよ～！」と教えてあげるお友だち大好きなクラスになりました！

ぱんだ



身体を使って遊ぶことが大好きなぱんだクラスは、一年間を通してリズム遊びを行ってきました。

リズム遊びの中では、音楽に合わせて歩く、走る、ジャンプする等、楽しんで身体を動かす遊びの他に、マット登り、フープとび、トンネルくぐり等、少し難しい動きに挑戦することもありました。最初は、自分がやることで精一杯だった子ども達ですが、お友だちを応援したり、成功を喜ぶ姿も見られるようになりました。

バスでお散歩に行き、大きな固定遊具で遊ぶこともありました。

様々な遊具がある中で、なぜか興味がある遊具が重なり、広い公園の中でひとつの遊具で全員遊んでいる...なんてこともありました。『お友だちと同じ。』『お友だちと一緒に。』クラスの中でも園外でも、お友だちと影響し合いながら楽しんだぱんだクラスです。

通園行事報告

「子どもの集い」

年末の季節行事として、12月22日に子どもの集い(クリスマス会)をおこないました。「あわてんぼうのサンタクロース」の歌をみんなで歌って、集いがスタート。

毎朝踊っているダンスやマット登り、大きなかぶの劇、楽器の演奏など、日々クラスで楽しんでいることをみんなの前で披露しました。保育園のお友だちも来てくれて、歌や演奏を見せてくれました。

鈴の音とともに、サンタクロースが登場。びっくりしたり立ち上がって喜んだりしながら、サンタさんを歓迎しました。プレゼントをもらって、ニコニコな笑顔の子どもたち。最後は、お待ちかねのケーキタイム。

大きなイチゴのショートケーキにみんな大喜びでした。



子ども発達センター 保護者の活動の紹介



あゆみ父母会（通園事業）

平成23年度の父母会も残すところ1ヶ月弱となってしまいました。もうすぐ卒園式……。通園のお友だちの卒園式や茶話会など思い出いっぱいになるよう父母会役員全員でがんばっていきます。

～ご報告～

昨年、引き継がれた父母会費から東日本大震災障害児支援として支援金を寄付させて頂きました。



、、、スクッピー友の会

「スクッピー友の会」では今年度2回のおしゃべり会と「センターまつり」に「リユースコーナー」で参加いたしました。どちらも子どもの療育では顔を合わせることのあまりない、通園、発達支援、卒園児のお母さん同士がお話できる時間を持つことができ、友の会の1つの目的を果たすことができたかなと思います。

4月から小学生になるお子さんのお母さんは、これから、そんな機会が少なくなる方も多いと思います。卒園しても「おしゃべり会」に参加できますので、メールアドレスをセンター1階のエレベーター横「スクッピー友の会ポスト」に入れていただければ今後のご案内をいたしますので、これからもよろしく願いいたします。



NPO 法人調布心身障害児・者親の会

こぐまグループ 「親の会・こぐまグループ」では、H23年度は6回の懇談会やランチ会、2回の先輩グループとの夜の飲み会を開催しました。親の会としての勉強会にも色々参加やお手伝いをしてきました。

懇談会は毎回たづくり又はあくろすの保育室で行い、お子さん同伴でも気兼ねなく参加出来ます。会員でなくても気軽に参加できますので、興味のある方は是非参加して見て下さい。

今後の活動予定

・3月23日(金)懇談会を、国領あくろす保育室にて 10:00～14:00で行います。

電車も見える明るいお部屋で玩具もいっぱい、お子様連れ大歓迎です ママだけの参加も大丈夫です。

みんなのサポートネット 23年度は、就学に関する勉強会の他、医療や感覚統合、お父さんのご協力をいただいた講演会などを行いました。発達センターからの案内で、多くの方が参加されました事、とてもうれしく思っています。24年度も、勉強会、懇談会を企画していきたいと思っておりますので、センターの掲示板等の案内をお見逃しなく！

編集後記

花粉症にはつらい春の訪れですが、今年は花粉も少なめとのこと……

心も軽く、新年度を迎えていきたいと思います。

一年間、皆様のご協力をいただきましたこと、ここに改めてお礼申し上げます。

皆様もそれぞれの場で、さわやかなスタートをお迎えください。

春から、子ども発達センターもまた進化する予定です。どうぞ、よろしく願いいたします。

